

2019年6月3日

株式会社三菱UFJ銀行

## 中国におけるRQFIIの認可取得について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>みけ かねつぐ</sup>三毛 兼承、以下 当行）は、今般、中華人民共和国（以下 中国）の金融監督当局である証券保険監督管理委員会（China Securities Regulatory Commission、以下 CSRC）および国家外貨管理局（State Administration of Foreign Exchange、以下 SAFE）より、人民元適格外国人機関投資家（Renminbi Qualified Foreign Institutional Investors、以下 RQFII）の認可を取得いたしました。

RQFIIとは、CSRCおよびSAFEから投資限度額の認可を受けた国外の投資家に対して、中国本土外（オフショア）で調達した人民元を使って中国本土（オンショア）の市場での株式や債券に直接投資を行うことを認める制度です。中国当局が国毎にRQFII投資枠を設定しており、日本には2018年5月に2,000億元の投資枠が認められました。当行は、RQFIIのカストディー業務を委託する中国大手銀行である中国銀行（Bank of China）を通じて、CSRCおよびSAFEに対してRQFII投資枠60億元を申請し、今般、認可を取得しております。

当行では、人民元国際化の流れを踏まえて当行の全額出資子会社である MUFG バンク（中国）に「人民元国際化業務推進室」を設置し、本邦本部および香港支店と連携しながら人民元ビジネスを強化してまいりました。2016年7月には人民元決済システムである CIPS<sup>※1</sup> に接続したほか、2017年7月には、邦銀初の「ボンドコネク特適格マーケットメーカー資格」<sup>※2</sup> も取得しております。

当行および MUFG バンク（中国）は、RQFII 投資枠を通じた中国資本市場への投資により、中国で事業を展開されるお客さまに対してさらに多様なサービスの提供を目指すとともに、中国の証券市場の発展にも貢献してまいります。

(※1)人民元建ての貿易決済と投資を促進するための金融インフラ。正式名称は、「人民元クロスボーダー決済システム」(Cross-border Interbank Payment System)。

(※2)ボンドコネク特は中国本土の債券を香港を経由して購入できる制度で、適格マーケットメーカー資格は、オフショアの投資家に債券を販売できる資格のことです。

以上